

次回新gTLD申請募集： 最新アップデート



2021年8月5日

新gTLDポリシー策定

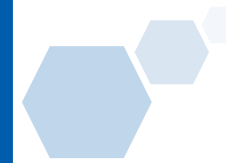
- (1) 背景
- (2) ポリシーの承認

ICANN71の進捗

- (1) BRG Session

現状と今後の流れ

- (1) ICANNの動き
- (2) 今後のタイムライン



背景

2012年にインターネットの資源調整を行う**ICANN** (Internet Corporation for Assigned Names & Numbers) は、インターネットの延長を拡大する目的で、新gTLDプログラムを開催しました。

その結果、**TLD** (トップレベルドメイン) を運用するため、1930件の申請がありました。審査として、TLD運用の目的、財務能力、技術能力、法人に関する調査が行われ、1,200件以上のTLDが増えました。また、その半分程は、**ブランドTLD** (.sony .toyota) です。

また、次回新gTLDの申請募集をする機会「**セカンドラウンド**」が迫っています。ICANNは、セカンドラウンドの申請ガイドラインとルールを決めるため、ポリシー策定と議論をICANNの支持組織である**GNSO** (Generic Names Supporting Organization 分野別ドメイン支持組織) の下でワーキンググループで2016年から2021年まで行いました。

ポリシーの承認

2021年2月18日にGNSOがポリシー策定の最終報告書の内容を承認することになりました。

最終報告書に関して：41件の課題について、採用不採用を決定しました。

- 意見のすべてを採用[全票賛成で可決] (Full Consensus)の課題：24
- 意見のすべてを採用[可決] (Consensus) の課題：15
- 一部反対意見があり不採用となった：1
- 不採用となった課題：1

第70回ICANNバーチャルミーティングにて、GNSO は ICANN理事会に最終報告書を稟議に上げました。

<https://gns0.icann.org/sites/default/files/file/field-file-attach/final-report-newgtld-subsequent-procedures-pdp-02feb21-en.pdf>

Public Comment

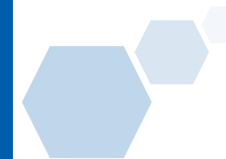
2021年4月22日にICANN 理事会は、最終報告書のアウトプットをパブリックコメントに挙げ、2021年6月1日にコメント募集期間が終了し、6月15日にコメントに関する報告書が公開されました。

結果として14の団体からコメントがありました。以下の内容でした。

- 全体的には、報告書の意見のほとんどに対して好意的。
- 4団体から意見のアウトプットの催促。
- 3団体が次回の申請募集を早急に実施するように催促。
- 2団体は申請募集を実施する前に、更に準備が必要と意見。

ICANN理事会はすべてのコメントを検討する。

Public Comment : <https://www.icann.org/public-comments/gnso-gtld-subsequent-procedures-final-outputs-2021-04-22-en>



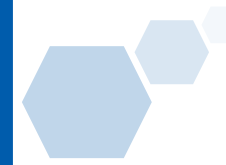
BRG Session: How Can ICANN Help Prepare New Entrants for the Next Round

ブランドTLDを代表するグループであるBrand Registry Group (BRG)は第71回ICANNミーティングで、次回申請募集期間に向けて、申請の候補者をどのようにICANNがサポートできるのか、議論を行いました。

申請候補者の参加者

- Uber: Rafa Gutierrez
- eBay: Olga Yaguez

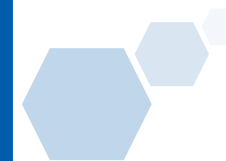




BRG Session: How Can ICANN Help Prepare New Entrants for the Next Round

セッションの目的：

- セカンドラウンドの需要確認
- 第一次申請ガイドブックの重要性
- セカンドラウンドのタイムライン

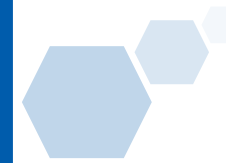


BRG Session: How Can ICANN Help Prepare New Entrants for the Next Round

セカンドラウンドの申請者の需要が存在する

UberやeBay等のような企業は申請に関心があります。当該企業のフィードバックは次の通りです。

- ICANNはセカンドラウンドに関する情報を共有せずして、申請者の需要がないと誤解してはいけません。
- セカンドラウンド実施に関する計画と内容を完成させなくても、ある程度セカンドラウンドのタイムラインと計画に関する情報さえあれば、企業は社内での議論と稟議は行える。
- ICANNから見通しの発表やコミュニケーションがないことで、セカンドラウンドの準備ができない。

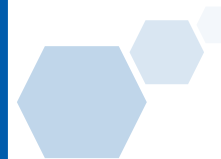


BRG Session: How Can ICANN Help Prepare New Entrants for the Next Round

第一次申請ガイドブックの重要性

2012年のファーストラウンドと同様、第一次申請ガイドブックを公開することで、申請者は次の点でメリットを享受します。

- 凡そのプロセスの理解
- 申請にあたるリスクの特定、または検討を前もってすることができる。
- 検討開始期間などを想定することで、稟議等のタイムラインを確認できる。

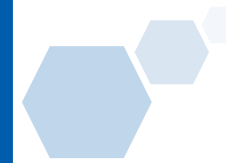


BRG Session: How Can ICANN Help Prepare New Entrants for the Next Round

セカンドラウンドのタイムライン

申請をする側にとっては、凡そのタイムラインが公開されることで、準備がしやすいということは、前頁でも述べたところですが、ICANNは、頑として完璧な計画でない限り情報の公開を避けたいという思いがあるようです。

申請者の意見を今後どれだけ受け入れていくかが注目です。

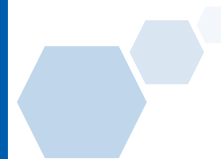


ICANNの動き

第71回ICANNミーティングを終え、7月中に、ICANN理事会がポリシー策定に関する決裁を行うが期待されていました。

しかしながら、ICANN理事会はその期待とは裏腹に、7月26日に、次回のラウンドに向けた準備事項について、情報アップデートし、公開しました。

<https://www.icann.org/en/blogs/details/next-steps-toward-the-next-round-23-7-2021-en>



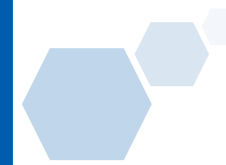
Operational Design Phase の事前プランニング

ポリシー策定の最終報告書がICANN理事会に上がってから、ICANNスタッフはすべての課題のアウトプットとパブリックコメントの意見に対する検討範囲を明確にしている最中です。

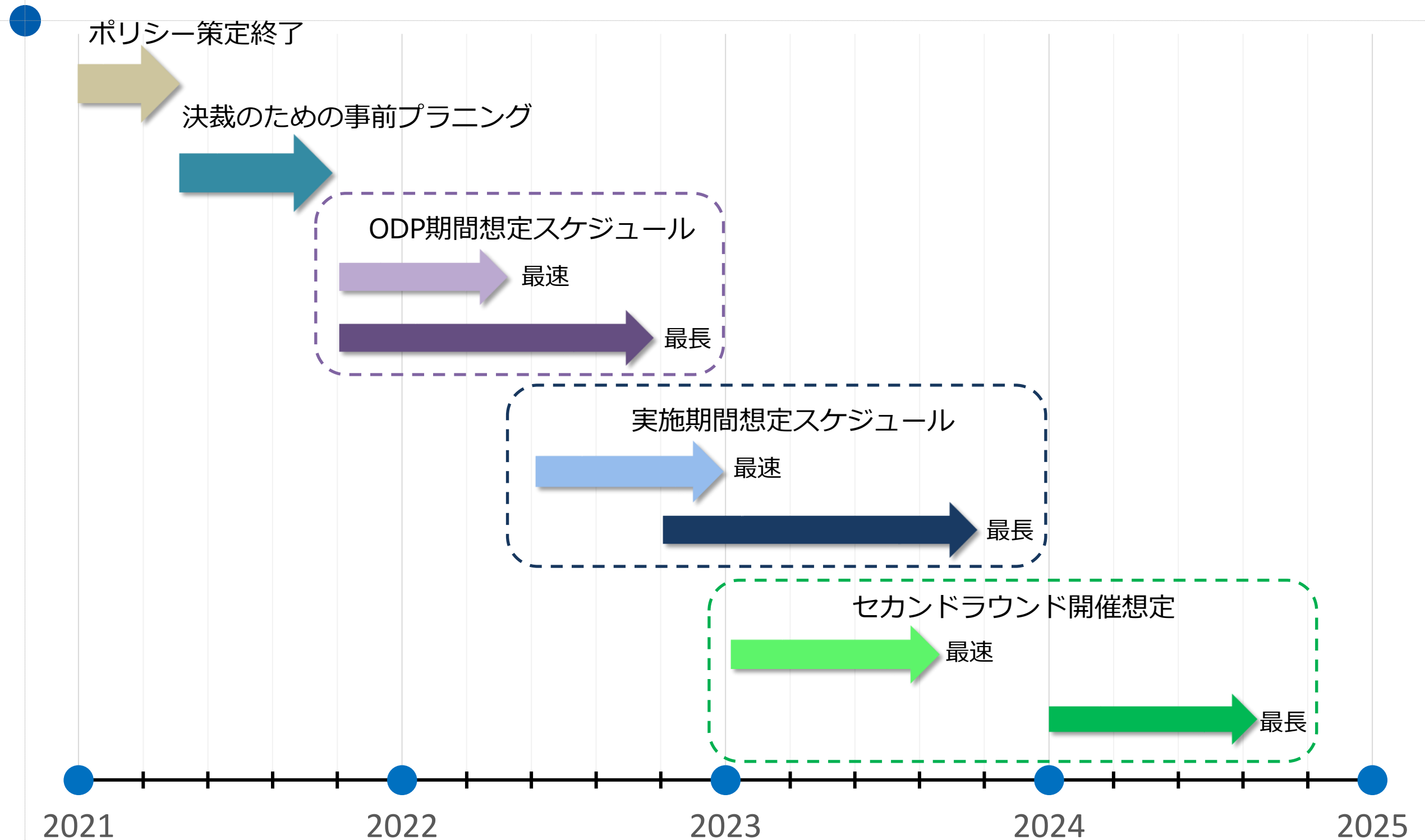
ICANNは、ポリシーを実施した場合の結果を整理するために Operational Design Phaseが必要と考えています。

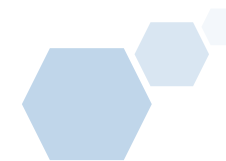
Operational Design Phase（略：ODP）とは、GNSOのポリシー策定を実際に実施テストすることで、ICANNスタッフが工程の分析を行います。最終的に、ICANN理事会にOperational Design Assessment（運用設計評価、略：ODA）を提出します。その上で、ICANN理事会は、ポリシーを実施するかしないか判断します。

ICANNスタッフは事前のプランニングを行っており、ODPを行うかどうか、ICANN理事会で2021年9月に判断するとのことでした。



予想されるタイムライン





当資料に関するお問い合わせは、下記までお願い申し上げます。

GMO Brights Consulting

GMOブライツコンサルティング株式会社

寺地 裕樹 / Michael Flemming

e-mail : consul@brights.jp

TEL : 03-5784-1069

Fax : 03-3462-5040

BRANDTODAY

<https://brandtoday.media>

- 当資料の著作権は、GMOブライツコンサルティング株式会社に帰属しています。
- 著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することを禁じます。
- その他の会社名、商品名、サービス名、ロゴは、それぞれを表示するためだけに引用されており、それぞれ各社の登録商標あるいは出願中の商標もしくは商号である場合があります。